

## 冬の夜

ともしび近く きぬ縫う母は  
春の遊びの楽しさ語る  
居並ぶ子どもは 指を折りつつ  
日数かぞえて喜び勇む  
いろり火はとろとろ 外は吹雪

囲炉裏の端に 縄なう父は  
過ぎしいくさの手柄を語る  
居並ぶ子どもは 眠さ忘れて  
耳を傾け こぶしを握る  
いろり火はとろとろ 外は吹雪

## 遠くへ行きたい

知らない町を歩いてみたい  
どこか遠くへ行きたい  
知らない海を眺めていたい  
どこか遠くへ行きたい  
遠い街 遠い海 夢はるか 一人旅  
愛する人とめぐり逢いたい  
どこか遠くへ行きたい  
愛し合い 信じ合い いつの日か 幸せを  
愛する人とめぐり逢いたい  
どこか遠くへ行きたい

## 見上げてごらん夜の星を

見上げてごらん夜の星を  
小さな星の小さな光が  
ささやかな幸せを歌ってる  
見上げてごらん夜の星を  
僕らのように名もない星が  
ささやかな幸せを祈ってる  
手をつなごう僕と 追いかけてよう夢を  
二人なら苦しくなんかないさ  
見上げてごらん夜の星を  
僕らのように名もない星が  
ささやかな幸せを祈ってる

## 白いブランコ

君は覚えているかしら あの白いブランコ  
風に吹かれて二人でゆれた  
あの白いブランコ  
日暮れはいつも淋しいと  
小さな肩をふるわせた  
君に口づけした時に  
優しくゆれた  
白い白い ブランコ

僕の心に今もゆれる あの白いブランコ  
幼い恋を見つめてくれた  
あの白いブランコ  
まだ壊れずにあるのなら  
君のおもかけ抱きしめて  
ひとりでゆれてみようかしら  
遠いあの日の  
白い白い 白いブランコ

### 365日の紙飛行機

朝の空を見上げて 今日という一日が  
笑顔でいられるように そつとお願ひした  
時には雨も降って 涙もあふれるけど  
思い通りにならない日は あした頑張ろう  
ずつと見てる夢は 私がもうひとりいて  
やりたいこと好きなように 自由にできる夢  
人生は紙飛行機 願ひのせて飛んで行くよ  
風の中を力のかぎり ただ進むだけ  
その距離を競うより どう飛んだか  
どこを飛んだのか

それが一番大切なんだ さあ 心のままに  
365日

星はいくつ見えるか 何も見えない夜か  
元気が出ない そんな時は 誰かと話そう  
人は思うよりも 一人ぼっちじゃないんだ  
すぐそばのやさしさに 気づかずにいるだけ  
人生は紙飛行機 愛をのせて飛んでいるよ  
自信もって広げる羽根を みんなが見上げる  
折り方を知らなくても いつのまにか

飛ばせるようになる  
それが希望 推進力だ ああ 楽しくやろう  
365日

飛んで行け 飛んでみよう  
飛んで行け 飛んでみよう

### 愛燦々

雨 さんざんと この身に落ちて  
わずかばかりの運の悪さを 恨んだりして  
人は哀しい 哀しいものですね  
それでも過去たちは 優しくまっげに憩う  
人生って 不思議なものですね

愛 さんさんと この身に降って  
心密かなうれし涙を 流したりして  
人はかわいい かわいいものですね  
ああ 過去たちは 優しくまっげに憩う  
人生って 不思議なものですね

ああ 未来たちは 人待ち顔してほほ笑む  
人生って 嬉しいものですね